

春まちグリーンの半促成長期どり栽培における栽植密度

福島県農業総合センター 会津地域研究所
平成18～19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - アスパラガス - 栽植密度・栽植様式、作型・栽培型
分類コード 03-35-15180000

2 担当者

芳賀紀之・野上紀恵・大竹真紀・斎藤祐一

3 要旨

「春まちグリーン」は品種特性上、初期収量がやや低いことが欠点である。そこで、初期収量を安定して確保するため、半促成長期どり栽培における最適な栽植密度を3、4年生株で検討した。

- (1) 総収量は、3、4年生株ともに栽植密度が高くなるほど増加傾向にあり、3、4年生株の合計した収量は従来の2倍の栽植密度(440株/a)で最も多く、従来の品種「ウェルカム」並となった。一方、栽植密度による増収効果は、3年生株より4年生株で劣った。収穫本数も同様の傾向であった。
- (2) 立茎までの春どり収量は、3、4年生株ともに栽植密度が高くなるほど増加傾向にあり、栽植密度を2倍にすると、「ウェルカム」を上回った。
- (3) 若茎の1茎重は、3、4年生株ともに栽植密度が高くなるほど低下した。
- (4) 規格別比率は、3、4年生株ともに栽植密度が高くなるほどA級L比率が減少し、A級M比率が増加する傾向にあった。
- (5) 地上部生育量、貯蔵根糖度(brix%)は、3、4年生株ともに栽植密度間に差はみられなかった。
- (6) 2倍の栽植密度は、2条千鳥植のため畝肩から萌芽し、両側の畝肩から収穫する必要があった。
- (7) 3、4年生株の合計販売額から物財費を差し引いた額は、栽植密度が高いほど高くなり、栽植密度を2倍にすると、「ウェルカム」並みとなった。

4 その他の資料等

なし